



日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート

2017.4. NO.1472.

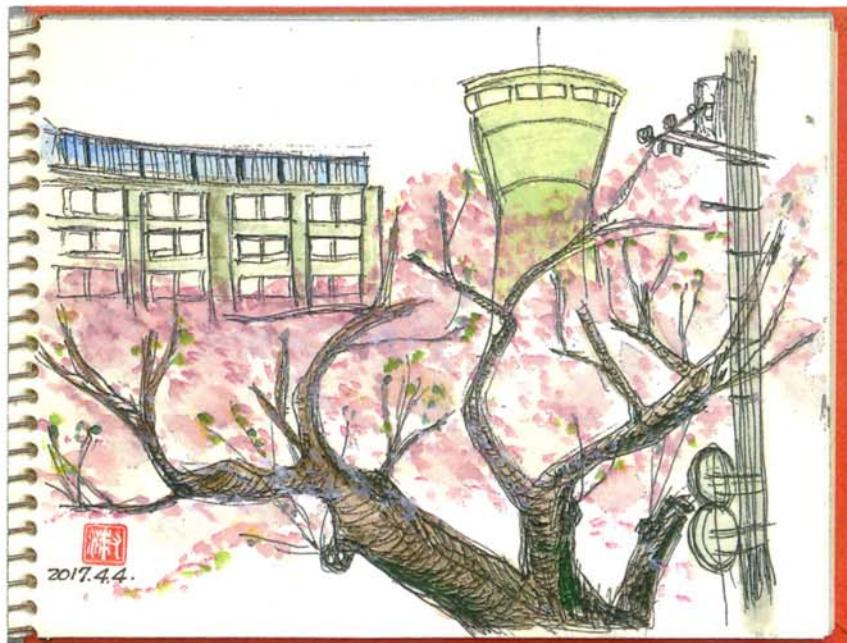
ご相談はお気軽に  
**TELとも3905-0970**

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144

# 風景

この場所、おわかりになりますか。特養ホームやまぐち桜側からの風景です。



4・9日本共産党の街頭演説は赤羽東口ひらばで2時からです。

- ①新年度がスタートました。のご入園、ご入学、新入社などおめでとうございます。
- ②4月1日は、前日からの雨模様。昼ごろまでふったり、やんやり…。しかも寒かったです。おでんをいっぱい用意ましたが、残念。「お花見会」の設定には、毎年ハラハラ、ドキドキですね。楽しみにされていた方には、「来年こそ」ということで。

## 「森友、国有地9割引き、教育勅語発表被災者、「自己責任だ」と復興大臣

- ③安倍政権というのは、頭の天辺から足の爪先まで、国民不在、憲法無視の内閣ではないのか。
- ④裏面でご紹介しているのは、核兵器禁止条約における国連会議。日本政府は欠席。115カ国の中、表によびかけたのは、被爆者の方と志位委員長でした。



## 住民不在の道路計画は撤回を

パネルディスカッションに参加した、そねはじめ都議(右から2人目)。その左隣は、補助86号線に反対する志茂一保存会の豊崎満会長



講演する岩見良太郎埼玉大学名誉教授

2日、千駄ヶ谷区民会館で、「止めろ! 特定整備路線2017全都集会」(主催: 特定整備路線全都連絡会)が開かれ、都内各地で住民不在の道路計画に反対してたたかう住民らが参加しました。

開会あいさつの後、岩見良太郎埼玉大学名誉教授が「東京大改造計画と特定整備路線」と題して講演ました。岩見氏は、住民の合意も

得ないまま、特定整備路線や優先整備路線など無謀な道路計画が推し進められる背景には、東京、名古屋、大阪をリニアモーターカーで結び、6000万人もの大都市・経済圏をつくって国際競争力を勝ちぬこうという「スーパー・メガリージョン構想」があると指摘。その骨格となるのが特定・優先整備路線などの道路網だと強調しました。

続いて、防災都市づくり研究家の中村八郎氏が「糸魚川火災と道路」をテーマに講演。147棟が焼失した糸魚川の大火灾では、炎が35m40mの高さまでがあが

## 71年前の都市計画決定 法的瑕疵は明らかに

### 公園を分断する86号線 特定整備路線

- ⑤この問題にとりくんでいる赤羽西地域の住民の方々も、この全都集会に参加されています。⑥私は今回、他の予定と重なり参加できませんでした。



国会報告をおこなう日本共産党的池内さおり衆院議員(左)と山添拓参院議員

⑦今号の記事は、同僚の野々山研区議のレポート(部)から、ご紹介しています。⑧そねはじめ都議はパネリスト。

## 4・2 止めろ! 特定整備路線2017全都集会

り、道路を飛び越えて次々と飛び火した「延焼遮断帯」としての大型道路建設に疑問を投げかけました。

事実を紹介し、「延焼遮断帯」としての大型道路建設に疑問を投げかけました。

志位委員長が要請文で行

つた提起の中心点は、次の通りです。

「核保有国の参加を追求しつつ、かりに最初は核保有国の参加が得られなかつたとしても、賛成する諸国（政府）によって核兵器禁止条約——核兵器を禁止する法的拘束力のある協定を早期に締結すること。今回の『国連会議』で、核兵器禁止案の早期締結にむけた国際的合意を達成すること」と

党代表団は、要請文を手に、会議が始まる前の3月23日から最後まで精力的に活動し、38の国・機関と懇談

70の「しんぶん赤旗」一部を紹介

### アイルランド

●ヘレン・ノーラン外務省軍縮不拡散局長（左から2人目）と懇談する志位委員長（その右）=3月29日、ニューヨーク（遠藤誠二撮影）

思います。引き続き参加を期待します。

### オーストリア

●トマス・ハイノツチ軍縮大使

（要請文は）たいへん良いものです。この会議の目的を支持していただき感謝します。

ストリアでは核兵器廃絶はすべての政党が支持し、憲法でも核兵器禁止をうたつ

します。日本でも多くの人が訴えて支持を広げています。

だくよう希望します。オ

ーイングランドでは全政党、国民が

兵器禁止の問題は、道徳的

と同時に、法的にも取り組

み義務があります。アイル

ーイングランドでは政黨、国民が

兵器禁止を支持していま

す。日本からこの会議に國

会議員が来てくれれしく

は、なぜあれば反対と騒

いことはありません。核

兵器では禁止条約に

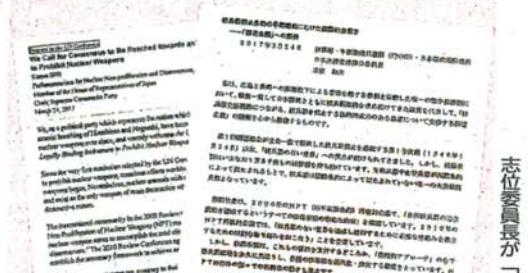
味はないといいます。

物兵器では禁止条約を実現

しました。核兵器でできな

がいるからでしょう。

志位委員長が「国連会議」に提出した要請文



We are gathered here to express our desire that the Nuclear Non-Proliferation and Disarmament Treaty (NPT) enter into force as soon as possible. We believe that the NPT is a cornerstone of international security and stability, and that its entry into force will contribute to the realization of a world free of nuclear weapons.

The International Assembly in the 2010 Plenary Session of the United Nations General Assembly adopted by the UN General Assembly resolution A/64/76, "Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons,"

The International Conference in the 2010 Plenary Session of the United Nations General Assembly adopted by the UN General Assembly resolution A/64/76, "Review Conference of the Parties to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons,"

We call for a meeting of a committee to work on a new convention to end all nuclear weapons.

Aspiration of each government of the five countries with nuclear weapons to achieve a nuclear weapons-free world by such a convention. It could either eliminate all nuclear weapons or reduce them to a minimum level.

We cannot continue to live in a society where nuclear weapons exist. We must take action to eliminate them.

日本は、核兵器の存在を許さない、核兵器の使用を禁じる、核兵器の開発をやめることを決めており、世界の人々が安心して暮らせる社会をめざして、今まで何よりも努力してきました。

## ■要請文の立場は理性的

## 日本を代表し志位委員長38ヵ国懇談

### ■核兵器禁止条約の早期締結と



会議での（志位委員長の）演説に感謝します。要請文の立場は、理性的なも

ので、よく理解できます。（まず禁止条約で一步を踏み出すという指摘）その通りですね。

●国連代表部・サイモン

・カサス神父

志位委員長は4/7(金)、この国連会議の報告を党本部をおこないます。

私も参加し、お「ボット」をご紹介します。4/7から。